

流山市消防本部庁舎建設基本計画（案）意見交換会（報告）

日 時 令和2年9月13日（日）午前10時～11時
場 所 流山市役所第2庁舎3階301会議室
参 加 者 4名（市内在住3名、市内在勤1名）
事 務 局 須藤消防次長、西澤課長補佐、秋元係長、植田係長
葛西消防司令補、知久消防士長、武田副主査

配布資料

- ・ 次第
- ・ 流山市消防本部庁舎建設基本計画（案）
- ・ 流山市消防本部庁舎建設基本計画（案）概要版
- ・ パブリックコメント チラシ
- ・ 意見提出様式

議 事 録

- 1 流山市消防本部庁舎建設基本計画（案）について説明
流山市消防本部庁舎建設基本計画(案)(以下「基本計画(案)」
とする。)について市より説明を行った。

説明においては、スクリーンに概要を表示した上で、内容説明を行なった。

- 2 質疑応答

※基本計画（案）に関する内容を掲載しています。

No.	質問	回答
1	基本計画(案)に記載のある女性消防職員用の更衣室等の諸室の面積が小さいと感じるが、現在の女性消防職員の人数、今後の増員予定、女性消防職員に意見を伺ったかどうか。	現在の女性消防職員数は消防本部全体で3名です。今後の増員予定については、6名が新庁舎で勤務できるように基本計画(案)を作成しています。 女性消防職員への意見聴取については、基本計画の作成段階で実施します。

2	洪水ハザードマップが更新されたが、移転先が洪水により浸水することはあるか。	移転先については、洪水ハザードマップの浸水想定区域から外れています。
3	全体の予算はどのくらいか。	設計（基本設計、実施設計、造成設計、積算業務等）にかかる予算については、令和2年度から令和4年度にかけて、1億9,500万円の継続費を設定しています。 建設にかかる予算額については基本設計を進めていく中で概算工事費を算出するため、予算は確定していません。
4	現庁舎を移転新築することによる費用対効果はどういうことがあるか。	現庁舎を現在の位置から東に移転することで、市全域が消防署から半径2.5キロメートルの範囲に入り、より良い出動計画となることが最大のメリットだと考えています。
5	どれくらいの耐震強度を設定しているか。	「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」（国土交通省）に定められている防災拠点施設の耐震強度（通常施設の耐震強度の1.5倍）で設計します。
6	非常用自家発電装置が72時間ではなく96時間である理由は何か。	防災拠点施設であることを鑑み、4日間稼働できるものとしています。
7	全体予算が確定していないということだが、概算の予算はどうか。	基本設計を進めていく中で概算工事費を算出するため、予算は確定していません。

8	新庁舎と流山警察署との距離が約200メートルと近いが、洪水や大雨に見舞われた時にいっぺんに壊滅することにならないか。	新庁舎は、洪水ハザードマップの浸水想定区域から外れているため、想定していません。
9	新庁舎移転先の地盤の強度も考慮しているか。	地質調査を実施済みです。
10	予算総額について、最小でこれくらい、最大でもこれくらいというものを決めてください。	基本設計等を通して、予算の全体額が決まって行きますので現段階で具体的な数値を決めることはできません。
11	屋上にヘリポートを作るべきではないか。	臨時離発着場（新東谷防災広場）があることから、新庁舎にヘリポートを設けることは考えていません。
12	基本計画（案）第7章施設整備方針の中で「災害時におけるヘリコプター等での輸送に際し、目標となるヘリサインの標示をします」というのはどういう意味か。	ヘリサインとは、上空を飛んでいるヘリコプター等から下を見て、ここに「流山市の中央消防署がある」と視認できるような文字を標示するものです。
13	新庁舎の前面道路が片側2車線の4車線道路になる計画があるが、信号の問題等こういった措置を検討しているか。	新庁舎の前面に計画されている都市計画道路下花輪駒木線については、消防車等が右折でも左折でも出動が可能になるよう中央分離帯の切り回し等を含め、関係機関と協議中です。